

正八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

元正天皇の養老元年（717）豊前国宇佐から勧請したと伝えられている。

應永年中（1394～1427）清原備前守沙彌が本社を建立、社領は九十町であった。

元亀年中（1570～1572）浦上遠州が大願主となり、市村真輔入道、河本左衛門進が神殿を再建し、社領50石の寄進があったがこれは後、金吾中納言（小早川秀秋）により没収される。

慶安元年（1648）佐井田神主社僧圓林坊連判の書き上げによれば当社は、宮数11の内、本殿3間四面、拝殿3間に5間、高麗御前、御供所門客人五社大明神、薬師堂、伊勢御前、天神、鐘楼、弁財天とあり、当時の神仏混淆の様子がうかがえる。

その後池田三左衛門（輝政）から明治5年まで累代に亘り、毎年1石と注連竹が寄進された。寛文12年（1672）本社並びに釣殿・拝殿・廻廊その他の再興にあたり、藩主池田継政から米10石の寄進を受けた。

明治42年神饌幣帛料供進神社に指定され、翌年村社伊勢荒魂神社ほか6社を合祀した。

本社は、古来からの例として、氏子中、粟利郷の男女15歳未満の者が大祭に限り、一様に木太刀、薙刀を持ち太刀踊りを踊る。

（岡山県及び牛窓町指定無形民俗文化財）



前の写真へ次

基本情報

神社コード 08052

神社名 正八幡宮（ショウハチマンガウ）

通称名 大土井正八幡宮

旧社格 村社

鎮座地 〒701-4212 瀬戸内市邑久町尻海980

電話番号

FAX番号

駐車場 有 50台

御祭神 応神天皇, 仲哀天皇, 神功皇后, 天御中主神, 彦火火出見尊

御神徳 五穀豊穡, 家内安全

主な祭典 5月15日：春季例祭
10月第2日曜日：秋季例大祭
12月15日：新嘗祭

宮司宅電話 0869-22-0803

URL

e-mail asahara@lime.ocn.ne.jp

特記事項 太刀踊り（岡山県指定無形民俗文化財、牛窓町指定無形民俗文化財）

氏子地域 瀬戸内市（牛窓町長浜 粟利郷、国塩、中村、畑、津行、西浦、邑久町庄田庄田東、西、邑久町庄田渡内、高助、邑久町尻海大土井 南大土井、邑久町本庄横尾、西庄、尾ノ村、邑久町本庄西ノ谷、下浦、夢ノ郷、邑久町本庄石仏、大土井、邑久町本庄土佐南、土佐北、水落、邑久町本庄藤峠、東谷）

交通アクセス

J R 赤穂線邑久駅から東へ5 km

神事一覧

おはけ→禱屋祭 祭礼日時：10月8日13時 文化財指定：県指定・町指定文化財 [神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)

